

R7 魚津市のコミュニティ・スクール⑩

東部中学校では、学校運営の重点として「地域・保護者から信頼される学校」を掲げ、地域の教育資源(人・もの・こと)を活用した厚みのある教育活動の充実を目指しています。そこで、そのよさを共有していただくために、学校運営協議会の委員の皆さまにも、地域人材を活用した授業を参観する機会を設定しました。1つは、2年生の技術・家庭科、もう1つは、3年生の総合的な学習の時間です。

中学2年生 家庭科の調理実習



「魚津の子に魚をさばく体験をさせたい」というPTA会長の発案で、魚のさばき方・調理の仕方の実習を行いました。この実習には市内にあるハリタ冷蔵さんに、魚の提供から技術指導までを協力いただき、一人1匹のサバを三枚におろして味噌煮にするまでを教えていただきました。また、地域ボランティアの方も支援に加わってくださったり、参観していた保護者も生徒と一緒に体験したりしました。魚に触るのは初めてという生徒もあり、学校だけではなかなか体験できない「厚みのある」貴重な体験となりました。生徒の生き生きとした様子から、委員の皆さんも「地域学校協働活動」のよさを実感したものだと思います。

中学3年生 総合的な学習の時間「明日の魚津を考える」発表

9年間の「キャリア教育」の学びの集大成として、中学3年では「明日の魚津を考える」というテーマで、自分の考えをパワーポイントにまとめて発表する活動を行っています。この日は、各クラスの代表4名の生徒による発表がありました。魚津のよさと課題を自分事としてとらえ、根拠となる資料を交えながらユニークな視点での提言となりました。



アドバイザーとして、学校運営協議会の委員の皆さんからも、発表に対する評価・助言をいただき、生徒は励みになったものと思います。

参観後に実施された「第2回学校運営協議会」では、校長先生からの中間報告に対して、具体的に意見交換がされ、今後の地域学校協働活動への期待について共有しました。